

(様式2(1))

事業所名 グループホームほのぼの建家

## 目標達成計画

作成日 平成28年8月31日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	月に1回の勉強会を開催し知識・技術の向上を図ってはいるが、職員個々の力量を測る客観的な指標となるものがなく、指導方法も指導側の主観となる可能性が高い。	職員個々の力量を図るための『評価表』を作成し、指導者側の職員に対する情報の共有を図り、計画性のある教育を行えるシステムを構築する。	『評価表』を作成し、全職員に対し6ヶ月に1度『評価表』の中の自己評価を実施させ、その後指導者(管理者)による評価を出し個別面談を実施。そうすることで指導者と職員の中で個別の目標を統一させ、それに合わせた指導を行っていく。	12ヶ月
2	29	ボランティアなどの地域資源に対する把握が弱く、インフォーマルな支援の協力があまりできていない。	尼崎地域における地域資源の把握を行い、定期的なボランティアさんの協力などを得られるようにし、入居者様の満足度の向上とよりオープンな事業所を目指す。	管理者により地域資源の把握を行い、ボランティアの要請や個々の入居者様に合った支援に繋げていく。	12ヶ月
3	26	介護計画に対し、本人や家族様、協力医療機関の意見を聞き、その内容を盛り込んではあるが実際に担当者会議へ参加するなどのことがほとんどない。	担当者会議に主治医や看護師、本人、家族などが参加し、より客観的なチームで作る介護計画を目指す。	介護計画の見直しが必要な場合には、各関係者へ担当者会議への出席の要請を行い、できるだけ多くの関係者が参加できるよう日程調整を行う。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。